

# 言語学 A 第 6 章: 言語能力と言語運用

## 1 プロトタイプ理論

問 1 「鳥」と言えば、何を思い浮かべるかを隣の人と話し合え。

問 2 図 1 を見て、自分の考えと同じかどうかを話し合え。(教科書 p. 125)

問 3 この理論から考えて、人間の言語の使い方と対象のとらえ方について、話し合え。

問 4 図 1 のような図を描くためには、「鳥」以外にどんなものを対象に調べるとよいか。

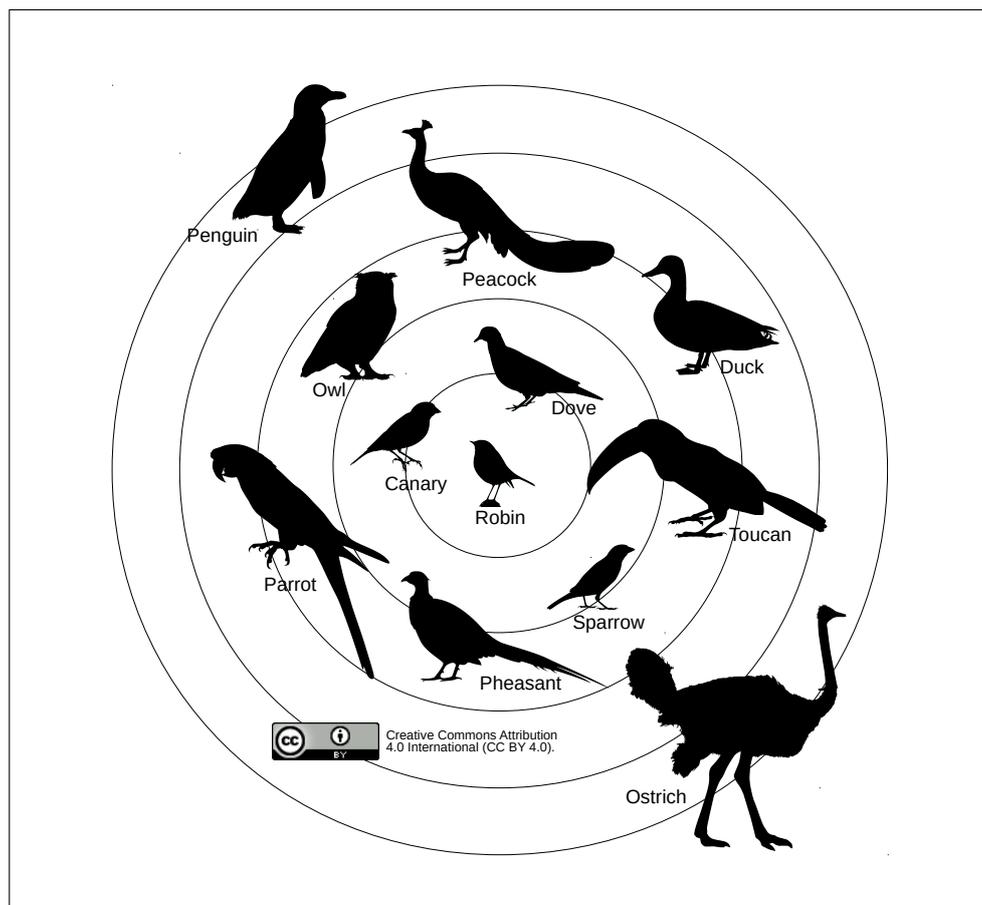


図 1: Which bird is the typical? Recreate based on (Rosch 1973, 1987)

## 2 敬語の機能

問 5 次のビデオは先輩後輩の関係で 2 名が話をしています。敬語の使い方に注目してビデオを見よ。

問 6 敬語はだれに使うかを話し合え。

問 7 上記、以外の人に敬語を使ったことがあるかどうかを話し合え。

問 8 次の文を読んで敬語の機能について考えよ。

### 敬語の機能

社会言語学の考えかたによれば、上品で礼儀正しいことばづかいをする理由は、話し手自身のフェイス (face / 顔/ 面子/ 体面) を保つとともに、聞き手のフェイスをも尊重する態度を表明することにあるとされている。相手を汚くするのは、相手の顔をつぶして気が済むかわりに、自分自身の人格 評価をも危険にさらす結果になる。相手が偉いから敬意を表明したり謙ったりするという説明原理よりも、このほうがずっと説得力がある (Brown=Levinson)。(小松 2013: 150): 小松の引用 (Brown=Levinson) は **Brown and Levinson (1987)** のこと。

問 9 自分が考えていた敬語と同じ考えであるか、それ以外にどんな機能があるかを話し合え。

問 10 敬語は教科書ではどのような用語で取り扱われているかを探し、話し合え。

## 3 発表

問 11 それぞれのテーマについて発表準備せよ。ペアになり、時間 5 分、2 分ずつで互いの研究を紹介し、コメントと質問を聞いて、メモを残し、提出論文の改善に役立てよ。

問 12 発表を効果的に行うにはどうすればよいかを考えよ。

## 4 試験

来週提出の試験問題の作り方を予習する。試験には問題文、参照ページ、模範解答を必須とする。

問 13 試しに試験問題を 1 つ作ってみよ。試験問題をペアで確認し、問題とは何かを考えよ。

問 14 模範解答はその問題の正解になっているかどうか、回答可能な問題かどうかを確認せよ。

- 試験問題を作成し、フォームにて送れ。締め切りは授業中に発表する。
- 試験問題提出 URL と口述試験予約 URL はいつものページに設置される。いつ設置されるかは、授業中に担当教員より伝える。

## 5 宿題

問 15 QR コードから Web ページにアクセスし、質問に答えよ (本日中締め切り厳守)。



Homework submission

## 参考文献

Brown, Penelope and Stephen. C. Levinson (1987) *Politeness: Some universals in language usage*, Cambridge: Cambridge University Press.

小松英雄 (2013) 『日本語はなぜ変化するか: 母語としての日本語の歴史』, 笠間書院.

Rosch, Elenor (1973) "Natural categories", *Cognitive Psychology*, Vol. 4, pp. 328–350.

—— (1987) "Wittgenstein and Categorization Research in Cognitive Psychology", in Dixon R.A. Chapman M. ed. *Meaning and the Growth of Understanding: Wittgenstein's Significance for Developmental Psychology*, Berlin, Heidelberg: Springer, Chap. 9, pp. 151–166.